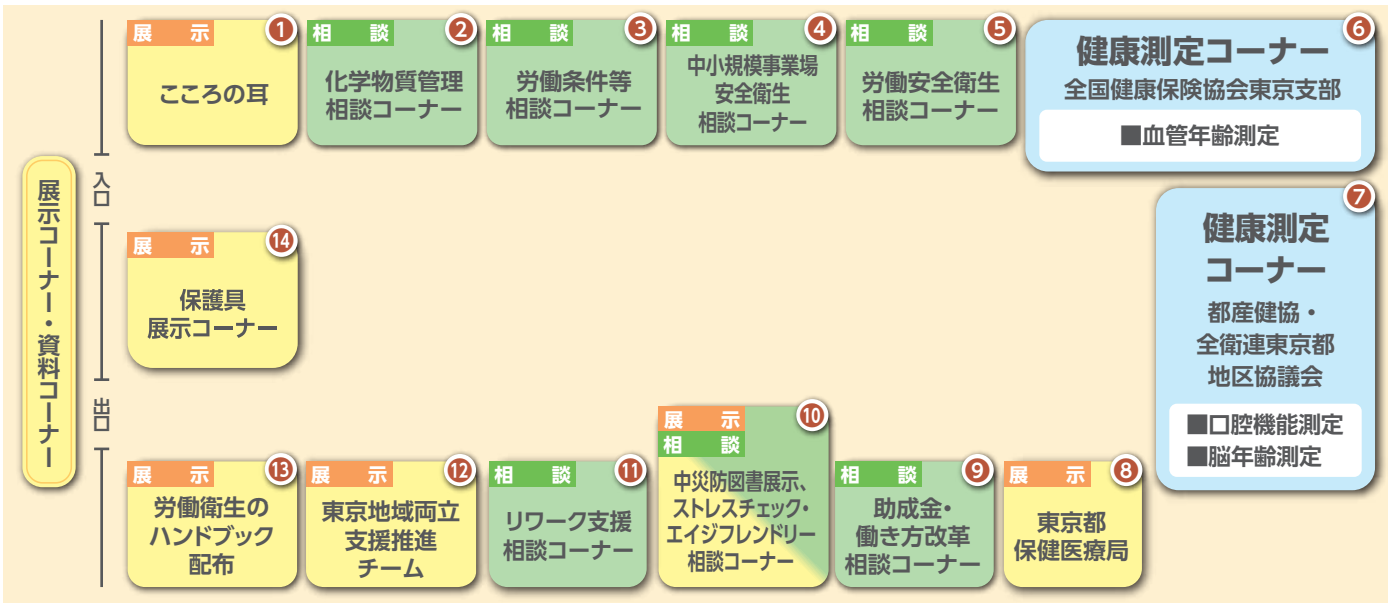


7階 イベントホール 健康測定・相談・展示コーナーご案内



健康測定・相談・展示コーナーの内容と出展団体

- ① **こころの耳**
一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 こころの耳運営事務局
● 「こころの耳」サイトの紹介
- ② **化学物質管理／リスクアセスメント 新たな化学物質管理への対応相談コーナー**
テクノヒル株式会社
● 化学物質管理の具体的な対応に関する相談
- ③ **労働条件等相談コーナー**
東京労働局労働基準部監督課
● 労働条件等相談
- ④ **中小規模事業場安全衛生相談コーナー**
公益社団法人東京労働基準協会連合会
● 中小規模事業場安全衛生相談
- ⑤ **労働安全衛生相談コーナー**
一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会 東京支部
● 労働安全衛生に関するご相談対応
- ⑥ **健康測定コーナー**
全国健康保険協会 東京支部
● 血管年齢測定
- ⑦ **健康測定コーナー**
東京都産業保健健康診断機関連絡協議会
全国労働衛生団体連合会 東京都地区協議会
● 口腔機能測定
● 脳年齢測定
- ⑧ **東京都保健医療局**
東京都保健医療局保健政策部健康推進課
● 健康づくり関係パンフレット等配布
- ⑨ **助成金・働き方改革相談コーナー**
東京働き方改革推進支援センター
● 厚生労働省各種助成金活用その他、
労務・働き方に関する相談
- ⑩ **中災防図書展示、ストレスチェック・エイジフレンドリー相談コーナー**
中央労働災害防止協会
● 図書の展示及びエイジフレンドリーや
ストレスチェックに関する相談
- ⑪ **リワーク支援相談コーナー**
東京障害者職業センター リワークセンター東京
● リワーク支援等の利用案内、情報提供
● リワーク支援に関する相談
- ⑫ **東京地域両立支援推進チーム**
東京地域両立支援促進チーム／東京労働局労働基準部健康課
● 治療と仕事の両立支援の案内
- ⑬ **労働衛生のハンドブック (令和8年度版) 配布**
東京産業保健総合支援センター
● 労働衛生のハンドブック配布
- ⑭ **保護具展示コーナー**
公益社団法人 日本保安用品協会
● 熱中症対策用品及び化学物質対策用保護具の展示

独立行政法人労働者健康安全機構

東京産業保健総合支援センター・地域窓口 (地域産業保健センター都内18ヶ所)

ストレスチェック制度サポートダイヤル：0570-031050 (平日10:00～17:00)

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14日本生命三番町ビル3階

TEL 03-5211-4480 FAX 03-5211-4485 (開所時間：平日午前8時30分～午後5時15分)

URL <https://www.tokyos.johas.go.jp/>



Safe Work TOKYO

産業保健フォーラム IN TOKYO 2026

いま見つめ直す職場のメンタルヘルス
～ストレスチェックから始まる心の健康づくり～

日時 ▶ 令和8年9月29日 火

開場 9:50 ▶ 開演 10:20

場所 ▶ きゅりあん 8階大ホール
(品川区東大井5-18-1)

〈主催〉 東京労働局／公益社団法人東京労働基準協会連合会
独立行政法人労働者健康安全機構東京産業保健総合支援センター

〈後援〉 東京都／特別区長会／東京都市長会／東京都町村会／独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部東京障害者職業センター／中央労働災害防止協会／建設業労働災害防止協会東京支部／陸上貨物運送事業労働災害防止協会東京支部会／港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京支部／公益社団法人東京都医師会／公益社団法人東京都歯科医師会／公益社団法人全国労働衛生団体連合会東京都地区協議会／全国健康保険協会東京支部／東京都産業保健健康診断機関連絡協議会／公益財団法人産業医学振興財団／一般社団法人日本産業保健師会／一般社団法人日本産業カウンセラー協会東京支部／公益社団法人日本作業環境測定協会京葉支部／一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部／東京都社会保険労務士会／一般社団法人東京経営者協会／東京商工会議所／東京都中小企業団体中央会／各地区労働基準協会／日本労働組合総連合会東京都連合会／全国建設労働組合総連合会東京都連合会／公益社団法人日本保安用品協会／公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会東京事務所／公益社団法人建設荷役車両安全技術協会東京支部／一般社団法人日本クレーン協会東京支部／一般社団法人日本ボイラ協会東京支部／一般社団法人東京工業団体連合会／一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会／一般社団法人東京都トラック協会／公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 (順不同)



第14次東京労働局労働災害防止計画 推進中！

きゅりあん 8階大ホール

開場 9 : 50 ▶ 開演 10 : 20

1 挨拶

10 : 20

主催者あいさつ

東京労働局長

2 講演①

10 : 30 ~ 11 : 45

職場のメンタルヘルス対策—ストレスチェック制度の有効活用

北里大学医学部公衆衛生学 教授

堤 明純 氏

略 歴

1987年自治医科大学医学部卒業。

福岡県内医療機関にて地域医療に従事後、1997年久留米大学医学部助手（環境衛生学講座）、2000年久留米大学医学部講師（環境衛生学講座）、2001年岡山大学大学院助教授（衛生学・予防医学分野）、2006年産業医科大学教授（産業医実務研修センター）を経て、2012年より北里大学医学部教授（公衆衛生学）。

講演要旨

労働者の心の健康の保持増進のための指針において、職場のメンタルヘルスは、事業者による計画の策定の下、事業場の全員が役割をもって、組織的に進めることが示されています。PDCAを回しながら、職場のメンタルヘルス対策のインフラを少しずつ整備していくことが大切です。2025年5月の労働安全衛生法改正により、従業員50人未満の中小企業も含め、実施が義務化されることになったストレスチェック制度も、PDCAを回しながら実施していくことが勧められます。

本講演では、ストレスチェック制度の有効的な活用を例にして、職場のメンタルヘルス対策の進め方についてお話ししたいと思います。

3 説明

13 : 00 ~ 13 : 20

「小規模事業場ストレスチェック制度実施マニュアル」について

東京労働局労働基準部健康課



さんぽくん

安全衛生・リワーク支援等の相談コーナー・
健康測定・展示コーナーを
開設しています。
(7階 イベントホール)

4 講演②

13 : 20 ~ 14 : 20

メンタルヘルス不調者が「戦力」に変わる —『配慮』から『活躍』へ—

合同会社活躍研究所 代表

三菱ケミカル株式会社 産業医

野崎 卓朗 氏

略 歴

産業医科大学卒業後、産業医として小規模事業場を含む複数の企業を担当。三菱ケミカルでは、メンタルヘルス不調による休業者の職場復帰支援に携わるなかで、2018年には社内復帰支援施設の設置を主導。「配慮型」支援の構造的限界を痛感し、「活躍支援型」アプローチを実践・体系化。現在は合同会社活躍研究所代表として、「メンタルヘルス不調になった従業員が当たり前前に活躍する会社を作る」べく、同アプローチの普及・啓発に取り組む。産業衛生指導医、厚生労働省委託事業「こころの耳」作業部会委員長。

講演要旨

メンタルヘルス不調者への対応について、「どう配慮したらよいのか」「また再発するのでは」と悩まれている担当者の方も多いのではないのでしょうか。実は、「配慮」が不調者の回復を妨げ、対応する側をも疲弊させる構造につながっている可能性があります。

本講演では、不調者を「配慮すべき弱者」と捉える従来の考え方から、「適切な準備を整えれば本来の力を発揮して活躍できる」という前提に立つ「活躍支援型」アプローチをご紹介します。このアプローチを取り入れた事業場では、休業者が就業制限なくフルタイムで安定的に就業を継続し、「戦力」として活躍する姿が多く、多くの事例で報告されています。

本講演が皆様のメンタルヘルス対策の「前提」を見直すきっかけになれば幸いです。

5 講演③

14 : 30 ~ 15 : 30

2つの手札で、管理者をメンタルヘルス加害者から支援者に変える
～「職場コミュニケーション」というファンタジー（幻想）への具体策

産業医科大学 産業医実務研修センター副センター長 教育教授

柴田 喜幸 氏

略 歴

熊本大学大学院教授システム学専攻博士後期課程にて、教育設計を学ぶ。

社会人教育事業などに携わった後、2008年4月産業医科大学産業医実務研修センターに入職し現職。

並行して、熊本大学大学院、三重大学大学院、佐賀大学、成城大学、広島大学等の非常勤講師、客員教授などを歴任。

一般財団法人日本教育学習評価機構理事

日本教育工学会、日本医学教育学会、日本産業衛生学会、日本がんサポーターシップケア学会、日本医療教授システム学会 等会員

講演要旨

「職場の心の健康」が問題視され、早四半世紀が経ちますが、悩ましい事案はあとをたちませんね。

その対策として「職場のコミュニケーションを」「4つのケアを」などさまざまな呼びかけがされてきましたが、どうにも新型コロナのようなきっぱりした終息感は訪れず、むしろ深刻化すら感じます。一体何が足りないのでしょうか。

本講では、これまでのこの話題に漂う「善意」と「技術」という2つのファンタジー（幻想）を抛り所に、マクロとミクロの2つの手札でこの悩ましい経営課題・職場課題そして健康課題の改善を考え、具体策をお持ち帰りいただきます。